

## 受講生募集

# 富士市民大学

# 生活文化をみよめおかげ

物から心への転換が叫ばれている  
このごろです。

市は、文化の振興をめざした施策  
を積極的にすすめています。

その一環として、今回これまでの  
各種講座とは異なった、内容豊かで  
程度も高い、文化を中心とした市民  
大学講座を開きます。

市民のみなさん受講してみませんか。



### 文化の芽が伸び なかった、なぜ？

富士市は、自然環境に恵まれた中  
で製紙産業を中心とした工業都市と  
して発展し、現在の20万都市になり  
ました。

この間、災害や、環境汚染など多  
くの問題を克服しながらひたすら物  
の豊かさを追求してきました。

この結果経済活動の活発なまちと  
なりましたが、心豊かな人づくりと  
いう面では、やや不足していたよう  
に思われます。

### 富士にもある たくさんの素材

市民の誇りである富士山、世界で  
も有数の深さをもつ駿河湾。この恵  
まれた自然環境から生まれた風土と  
歴史・伝統・人的資源など、文化を  
発展させる素材には恵まれています。

しかし残念ながら、それらが市民  
共通の意識として認識されていなか  
ったように考えられます。

### 視野を広げる 役に立てば…

そこで富士地域固有の生活文化を  
広い視野に立って、もう一度見つめ  
直し、産業文化都市としてのイメー  
ジづくりと、富士に住むことを誇り  
とする人づくりに役立てようと企画  
したのが市民大学講座です。

講師陣は、それぞれ一流の専門家  
ばかりで、地方都市では簡単にお招  
きできない方々です。

市民のみなさんの受講をおまちし  
ます。



生活文化の殿堂市立博物館

# 応募あんない

◆学習期間と時間

9月2日(水)～11月18日(水)までの間12回  
18時30分～20時30分(開・閉講式は18時から)

◆対象者

富士市に住んでいる一般成人者

◆募集人員

200人(定員になりしだい締切ります)

◆受講料

5,000円(テキスト代を含みます)

◆申し込み方法及び申し込み先

受講料を添えて社会教育課・各公民館・富士文化センター・吉原市民会館へ申し込んでください。

申し込み用紙は申し込み先に用意してあります。

◆受付期間

8月1日(土)～8月10日(月)

◆特別講座の受付

特別講座(2回)の受講生は後日募集します。

受講料は有料になります。

◆その他

受講生には受講証と一定の講座を受講された方に  
修了証書をさしあげます。

◆問い合わせ先

教育委員会社会教育課 ☎51-0123内線453

※10月28日には、渡辺市長が「富士市政の課題と展望」について講演します。

回	月日	会場	テーマ	講師	学習内容
1	9月2日(水)	富士文化センター (第1.2.3会議室)	地域社会と文化	文化庁長官 佐野文一郎	開講式 現代は「文化の時代」であり、そして「文化の時代」とは同時に「地方の時代」といわれているがそれはどういうことなのだろうか。
2	9月9日(水)	富士文化センター (第1.2.3会議室)	シルクロードの旅 (そこに日本文化 のルーツを見た)	NHKシルクロード チーフカメラマン 野口篤太郎	・人為的に閉ざされていた中国西域について ・広大な面積とその風土 ・極乾の地、故に残された文化遺産 ・オアシスに生きる人々 ・ここが日本と無縁でない理由
3	9月16日(水)	富士文化センター (大ホール)	資源問題から見た 日本経済の展望	法政大学教授 力石定一	特別講座 巨大な消費国ニッポンが生きのびる道は……成長軌道の選択・エネルギー・ゼロ成長社会の経済構造・発展途上国の経済自立の条件・企業の社会的責任など、岐路に立つ日本経済に根本からメスを入れる。
4	9月25日(金)	富士商工会議所 (大会議室)	飛鳥文化の源流	京都大学教授 上田正昭	日本文化のなりたちには「和魂漢戈」の要素が濃厚である。飛鳥文化も例外ではなかった。飛鳥文化の源流をたずねてその実相をみきわめる。
5	9月30日(水)	吉原市民会館 (第1会議室)	富士山と日本人	東京大学教授 芳賀徹	富士山とは日本人にとって、また日本文化にとって一体何であったろうか。その問題を古今の詩歌と絵画、主として北斎の「富嶽三十六景」を通して考え直す。
6	10月7日(水)	吉原市民会館 (大ホール)	テレビと小説	作家 平岩弓枝	特別講座 テレビと小説のドラマづくりの違いや、その舞台裏の話をないまぜながら、これまでの約20年間にわたる作家生活のなかで、出会った人々や忘れられない事どもについて語る。
7	10月14日(水)	吉原市民会館 (第1会議室)	科学的に見た富士山 (プレートテクト ニックスと富士の 謎)	駒沢大学教授 木澤 紘	富士山は日本のシンボルであり、誇りである。身近にいる私たちは改めて富士山を科学的な面から見つめ直し、その神秘を謙虚に学ぶ。
8	10月21日(水)	同上	駿河湾のなぞ	東海大学教授 星野通平	駿河湾はその地形、そこに住む生物などに極めて独特な特徴が見られる。今日的な問題となっている大地震の問題に展望をあたえる駿河湾を正確に知る。
9	10月28日(水)	同上	運慶の謎	静岡大学教授 若林淳之	松岡瑞林寺に運慶の作と伝えられる仏像がある。これを伝来した者は誰か。伝来した人は運慶の作であることを知っていたのか。当時の開拓、開発の文化的考察も合わせて考える。
10	11月4日(水)	同上	紙の旅	県無形文化財 和紙研究家 後藤清吉郎	紙の起源とその経路。古代人類は洞窟や亀甲に狩猟や生活の記録を残した。人間独特の行為である文化を紙の起源と紙の世界に広められた記録をみつめる。
11	11月11日(水)	同上	映画「典子は今」と私	シナリオ・ライター 松山善三	・映画はどのように作られるか ・主題と主演者 ・国際障害者年の意義 ・これからの映画 ・映画を見る姿勢
12	11月18日(水)	同上	アジアにおける 日本の立場	東海大学教授 林 建彦	閉講式 アジアの平和を維持し、友好、連帯を促進するため、日本人はこれらの国々の政治・経済・教育・文化・科学などの発展のため何をなすべきか考える